

御前山ビオトープ通信

平成16年7月10日

第6号

編集：美しい田園21 清野



メール：denen21@hb.tp1.jp

ホームページ：

(本号はホームページ掲載記事を再編集したものです)

目次

1 御前山ビオトープ：リリースイベント

- ・草刈、水路改修、移植作業、交流会

【案内図】



1 御前山ビオトープ：リリースイベントを実施

平成16年7月10日（土）

「ビオトープは作るものではなく、皆で育てるものです。」池、水路、田んぼや橋などはひとまず復元されましたが、希少動植物を移植し、生育環境を保持していくためには、これからが本番です。

希少植物を移植した後、定着状況を調査検証するモニタリング、課題があった場合は修正工事などを繰り返し実施する必要があります。

水路班：落差工の改修



として参加し、水路班、わさび班、植物班、炊事班などに分担して作業を行いました。

【水路班】

メダカやドジョウなどの小魚がため池や水路を自由に移動できるように、水路の落差工を土嚢積みなどで傾斜改良したり、各湿地に適正に配水で

集合：作業説明



そこで、7月10日（土）に御前山ビオトープが一次整備と最初の移植作業を終えてひとり立ち（リリース）するための支援育成活動を実施することになりました。

当日は桧山集落、事業所、農政局OB（大手町会）、ダム工事関係者などから大勢がボランティア作業



わさび班：敵地選定が難題

きるように分土工の改良工事を行いました。

【わさび班】

今春、那珂川沿岸農業水利事業所から長野県の安曇野農業水利事業所に転勤した職員から送られた「わさび苗」を溪流や水路などに敵地を選定して移植しました。



植物班：ハスの移植

【植物班】

ビオトープも大勢の人が来て賑わい、楽しめる場が必要と考えて、下流の那珂中部土地改良区（文洞ため池）や水戸市植物公園の協力で、スイレン、コウホネ、ハスなどの水生植物をため池などに移植することにしました。

ため池はそれぞれ深さが違うので、移植作業も深みがあるなど大変な難航作業で

した。

将来は花のあるビオトープとして定着してほしいものです。

【炊事班】

作業も暑い中でしたが順調に進み、昼食は炊事班がバーベキューを準備しました。



炊事班

【昼食、意見交換会】

日陰のベンチに座って食事しながら、各班から作業報告などが行われました。

また、今後の作業などについても様々な意見が出されました。

特に地元集落から猪対策について長年の経験から具体的な提案があり、真剣な議論が行われました。

まずは作業も一段落、暑い中、ご苦労さん。満腹でした。



作業報告、意見交換

